

【資料提供】

月 日(曜日)	担当課(室)	電話	担当者
4月12日(金)	徳島県立近代美術館	088-668-1088	三宅翔士、宮崎晴子、 久米千裕

近代美術館の資料の収集について

令和5年度、県立近代美術館において収集した資料は、次のとおりです。

収集資料 (詳細: 別紙リスト)

【購入】黒川弘毅〈Eros 47〉1点

【寄贈】福田美蘭〈ぶれちゃった写真(マウリッツハイス美術館)〉(油彩画他)等
95点、幸田春耕・暁冶〈出品歴記録資料と書簡〉等2件

計 96点及び2件

なお、個人からの購入、寄贈等につきましては、「徳島県情報公開条例」の規定に基づき、氏名を公開いたしません。

収集資料一覧 (令和6年4月)

今回収集点数 96点2件

今回収集額 1,300,000円

徳島県立近代美術館

番号 種別	さっかめい 作家名	さくひんめい 作品名	数量	制作年	価格(円)	こうにゆうきさまたはきそせうしや 購入先または寄贈者
			寸法(縦×横×奥行き) cm			
購入			小計	1点	1,300,000円	
01 彫刻・立体	くろかわひろたけ 黒川弘毅	えろーす Eros 47	1	2004	1,300,000円	コバヤシ画廊
			83.0 × 38.5 × 21.0			
寄贈			小計	2件、95点		
02 彫刻・立体	くろかわひろたけ 黒川弘毅	えろーす Eros 48	1	2004		売買を業としない個人収集家からの 寄贈につき公表しない。
			80.5 × 42.0 × 26.0			
03 油彩画他	いはらうさぶろう 伊原宇三郎	みずべ けしき かりだい 水辺の景色 (仮題)	1	1920年頃		売買を業としない個人収集家からの 寄贈につき公表しない。
			23.8 × 33.0			
04 油彩画他	いはらうさぶろう 伊原宇三郎	ほか もしや かりだい ジョット他の模写 (仮題)	1	1925-29年		売買を業としない個人収集家からの 寄贈につき公表しない。
			× ×			
05 油彩画他	いはらうさぶろう 伊原宇三郎	がっき びん もしや ピカソ (楽器、ポルトの瓶、ギター、トランプ) の模写	1	1925-29年		売買を業としない個人収集家からの 寄贈につき公表しない。
			45.7 × 54.5			
06 油彩画他	いはらうさぶろう 伊原宇三郎	とけい せいぶつ 時計のある静物	1	1925-26年		売買を業としない個人収集家からの 寄贈につき公表しない。
			27.0 × 21.7			
07 油彩画他	いはらうさぶろう 伊原宇三郎	てつきょう 鉄橋 (モレー)	1	1925年頃		売買を業としない個人収集家からの 寄贈につき公表しない。
			26.8 × 34.0			
08 油彩画他	いはらうさぶろう 伊原宇三郎	みなみ こと 南フランス プロヴァンスの古都アルルにて	1	1926年		売買を業としない個人収集家からの 寄贈につき公表しない。
			53.2 × 65.0			
09 油彩画他	いはらうさぶろう 伊原宇三郎	おか ざ しゅうさく 〈丘に座す〉のための習作	1	1931年		売買を業としない個人収集家からの 寄贈につき公表しない。
			26.8 × 35.0			
10 油彩画他	いはらうさぶろう 伊原宇三郎	りゅうきゅう おんな 琉球の女	1	1975年		売買を業としない個人収集家からの 寄贈につき公表しない。
			45.5 × 37.8			
11 油彩画他	いはらうさぶろう 伊原宇三郎	さくらじまふうけい 桜島風景	1	1975年		売買を業としない個人収集家からの 寄贈につき公表しない。
			37.8 × 45.4			
12 版画	いはらうさぶろう 伊原宇三郎	ふうけい ノルマンディー風景	1	1958-59年		売買を業としない個人収集家からの 寄贈につき公表しない。
			45.6 × 55.4			
13 版画	いはらうさぶろう 伊原宇三郎	おんな かお 女の顔	1	1968年		売買を業としない個人収集家からの 寄贈につき公表しない。
			42.0 × 30.0			

番号 種別	さっかめい 作家名	さくひんめい 作品名	数量		制作年		価格(円)		こうにゆうさきまたはきそうしや 購入先または寄贈者
			寸法(縦×横×奥行き) cm						
14 油彩画他	びとうゆたか 尾藤豊	あつかつ 復活	1		1961年				売買を業としない個人収集家からの 寄贈につき公表しない。
			132.0 × 227.7						
15 油彩画他	びとうゆたか 尾藤豊	かお ふうけい 顔のある風景2	1		1961年				売買を業としない個人収集家からの 寄贈につき公表しない。
			130.0 × 182.0						
16 素描	びとうゆたか 尾藤豊	だいしや 台車	1		1954年				売買を業としない個人収集家からの 寄贈につき公表しない。
			25.2 × 35.4						
17 油彩画他	あくだみらん 福田美蘭	しゃしん びじゅつかん ぶれちやった写真(マウリッツハイス美術館)	1		2003年				売買を業としない個人収集家からの 寄贈につき公表しない。
			162.0 × 130.3						
18 日本画	はらさくたろう 原菊太郎	ぐんぎよずびょうぶ 群魚図屏風	1		1949-50年頃				売買を業としない個人収集家からの 寄贈につき公表しない。
			154.2 × 138.7						
19 版画	いそべゆきひさ 磯辺行久ほか13名	やまぐちひろしし はんが 山口宏氏コレクション 版画44点	44						売買を業としない個人収集家からの 寄贈につき公表しない。
			× ×						
20 版画	かのうみつお 加納光於	はんがしゆう はどうせつ うち 版画集(「波動説」-intaglioをめぐって)の内22点	22		1984-85年				売買を業としない個人収集家からの 寄贈につき公表しない。
			× ×						
21 版画	くろさきあきら 黒崎彰	さくひんしりょう さくひん しりょう 作品資料10点(作品7点、資料3点)	10						売買を業としない個人収集家からの 寄贈につき公表しない。
			× ×						
22 版画	たにぐちくんび 谷口董美	あたか あわでく 安宅・阿波木偶	1		1947				売買を業としない個人収集家からの 寄贈につき公表しない。
			54.3 × 39.0						
23 版画	やましたきくじ 山下菊二	よみ し ふくろう 黄泉を識る鼻	1		1981				売買を業としない個人収集家からの 寄贈につき公表しない。
			35.4 × 49.8						
24 二次資料	こうたしゆんこうぎょうや 幸田春耕・暁治	がざい ふで はけ がよう えのぐ すみ にかわ 画材(筆、刷毛、画用ナイフ、絵具、墨、膠)	1件						売買を業としない個人収集家からの 寄贈につき公表しない。
			× ×						
25 二次資料	こうたしゆんこうぎょうや 幸田春耕・暁治	しゅつびんれききろくしりょう しょかん 出品歴記録資料と書簡	1件		1955-73年頃				売買を業としない個人収集家からの 寄贈につき公表しない。
			× ×						

広報用画像

広報用として、次の作品画像データを提供できます。使用に際しては「作品名」「作者名」及び所蔵品であることを明記してください。



黒川弘毅 〈Eros 47〉 2004年 ホワイトブロンズ 83.0×38.5×21.0cm

【略歴】 1952（昭和27）年～

東京都生まれ。1977年東京造形大学美術学部彫刻専攻卒業。1991-92年、文化庁の奨励によりイタリア・ミラノ滞在。1980年頃より個展を多数開催する。主なものとして、「黒川弘毅 饗宴—生成するエロス」（2003年 府中市美術館）、「さまざまな眼154 黒川弘毅展」（2007年 かわさき IBM ギャラリー）などがある。また、主なグループ展として、「もの派とポストもの派の展開」（1984年 西武美術館）、「第8回インドトリエンナーレ」（1994年 ラリットカーラアカデミー、ニューデリーほか）などがある。一貫してブロンズ彫刻を手がけているが、原型によらず鋳型だけで制作を行い続けていることに特徴がある。

【作品について】

黒川は、彫刻家の仕事は、外部にある存在がこのように現れたいと望む形を生み出すことであると考えている。1997年より始まる〈Eros〉のシリーズは、黒川の作品において初めて具体的な人型が現れた作品群で、本作は、2004年に東京のコバヤシ画廊で開かれた個展に出品された。前面にあたる部分はグラインダーで削られ光沢があるが、背面は熱で溶けたブロンズが冷えて固まることで黒く変色し、ざらついた部分が剥き出しになっている。



福田美蘭〈ぶれちゃった写真（マウリッツハイス美術館）〉2003年 アクリル パネル 162.0×130.3 cm

【略歴】1963（昭和38）年～

東京都生まれ。1987年東京藝術大学大学院修士課程修了。同年、第18回現代日本美術展に自身初の作品を発表、佳作に入選。1898年には安井賞を最年少で受賞し、華やかなデビューを飾る。その後も、1991年のインドトリエンナーレ、1994年の釜山ビエンナーレなど国内外で作品を発表するほか、2013年東京都美術館、2023年名古屋市美術館での個展をはじめ、多方面で活躍している。主に西洋や日本における美術史上の名画、メディアで用いられる時事的な画像を引用し、パロディ化することで、イメージが氾濫する現代における美術の役割を問い続けている。

【作品について】

フィルムカメラで撮影し、手ブレした写真がそのまま絵画化されている。場所はオランダのマウリッツハウス美術館で、そこには作家自身の姿と、輪郭のぼやけたレンブラントの肖像画がある。誰もがいつでも気楽に写真を撮ることがより身近になった今日でも、肉眼で見えているとおりに写真を撮りたいのに画像がブレてしまうことは、誰も一度は経験したことがある。この作品は様々な画像が身近にあふれる現代において、私たちに「見る」とはどういうことなのかと、改めて問いかけている。